

# 子供を狙う犯罪

その1

## 誘拐・連れ去り

「道を教えて」「ゲームソフトを買ってあげる」  
など、連れ去り犯は言葉巧みに子供たちに近づきます。通学路でも安心はできません。毎日同じ道を通るので、犯人が待ち伏せている可能性もあるからです。なるべく一人にならず、知らない人には絶対ついていかないよう子供に教えてください。



### — 対策 —

- ・子供に防犯の習慣を身につけさせる
- ・危険場所がわかったら、そこには行かないように注意する
- ・登下校も友達と一緒に歩かせる ・なるべく一人で遊ばせない
- ・防犯ブザーを持たせる
- ・道を尋ねられたら、相手から離れて答えるよう覚えさせる
- ・「こども 110 番の家」の場所を確認し覚えさせる
- ・子供が外に出るときは、誰と、どこで遊ぶか、何時に帰るか一言伝えてから出かける習慣を身につけさせる

#### 地域の目撃情報を

- ・地域で協力してパトロールを行う ・暗くなっても遊んでいる子供には声をかける
- ・子供と一緒に危険な場所を確認しながら地域安全マップをつくり、どういところで犯罪が起こりやすいかを学習させる
- ・子供の行動は、日頃から把握しその変化を見逃さない

# 子供を狙う犯罪

その2

## 青少年の不良行為・薬物・シンナー

### 薬物の魔の手が子どもに近づいています

シンナーや覚せい剤、大麻、MDMA、脱法ドラッグなどを乱用する子どもが後を絶ちません。最近では、学校内で薬物を売買するなど、薬物は確実に子どもの世界に広がっています。

薬物に手を出す子どもの多くは、薬物に対して「やせられる」「かっこいい」「1回だけなら大丈夫」などという誤った認識を持っています。密売人もまた、若者のファッションであるかのような言葉を使って薬物使用を誘ってきます。しかしそれは、子どもの人生をボロボロにする恐ろしいものだとすることを、大人からくりかえし伝えなければいけません。対処法がわからないときは、警察に相談してください。

その他、子どもを取り巻く環境（援助交際・出会い系サイト・薬物等）が悪化しています。

家庭や地域で子どもに悪影響を与える業者に厳しい態度で臨む姿勢が大切です。



### —— 対策 ——

- ・ダイエット効果など全くなく、有害で危険なものであることを教える
- ・誘いには決してのらないように、断り方を日頃から教える
- ・子どもの変調を見逃さない
- ・友人に誘われてもはっきり断る
- ・親子や住民のコミュニケーションを積極的に行う

